

# Electronic Police Siren Kit WBE 100



## WBE100

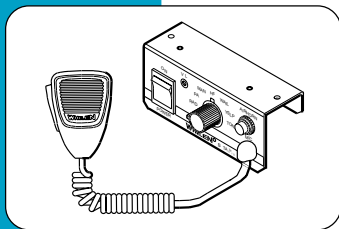


## The Electronic 100 watts Police Siren Kit

|   |    |
|---|----|
| 目次 .....                                  | 2  |
| コントロール・ヘッドの設置位置決定 .....                   | 3  |
| ブラック・ボックス設置位置の決定 .....                    | 4  |
| 配線の完成準備 .....                             | 5  |
| コントロールボックス側の配線確認 .....                    | 6  |
| 配線イメージ図 .....                             | 7  |
| サイレンの機能テスト .....                          | 8  |
| スピーカー装置と搭載について .....                      | 12 |
| 仕様関係 / Dimension and Specifications ..... | 13 |

## コントロール・ヘッドの設置位置決定

WBE100 システムセットは、WPA100 と同様リモートコントロールヘッドとブラックボックスに分かれた汎用セパレートタイプ・システムです。筐体サイズ及び重量、システム基本機能と性能はモーターサイクルで使用するには余りあるものがありますが、製品ジャンルから自動車・船舶・航空機での採用が中心となる関係上「防滴仕様製品」及び「振動対策製品」としてのメーカー保証はありません。価格的にはWPA100の「モーターサイクル専用・防滴仕様モデル」に比べてかなり経済的で、最前線でも非常に人気の高いシステムです。



ラジオやカセットテープ・プレイヤー等をコクピットに搭載する場合と同様に、コントロールヘッドは直接水気が掛からない場所への設置を検討してください。水分を含んだ風圧を受ける場所ではシステム装置内への水分の浸入は防ぎきれません。結線作業ではすべてのコネクター結線部及びその周囲の防湿・防水に役立つグリスを塗って差し込みを完了してください。

高性能ノイズレス・マイクロフォンは緊急時対応仕様で取り外しが出来ません。いざと言う時に、マイクロフォンがない、あるいはジャックへの差し込む状態が悪くて音声が出ない等、公務執行上での弊害が起きない様に「常時接続型」と言うことになります。

## ブラック・ボックス設置位置の決定

ブラック・ボックスはコントロール・ボックス同様「防滴仕様」は施されていません。水分による損傷防止のため高温・多湿となる場所及び走行時の風圧・振動を強く受ける場所への設置は出来るだけ避けてください。水分を含んだ風圧はシステム内部へ有害水分を送り込みます。

ブラック・ボックスの固定にはボルト・ナット類及び設置場所によってはタッピング・スクリューを使用する事も予想されます。車輛本体の配線類にダメージを与える事が無い様に設置場所の選択・決定は十分な配慮を持って行って下さい。

ブラックボックスを固定する、その裏側は大丈夫ですか？  
主要な配線類をいためるような事はないでしょうか？ サイドバック、ラジオボックスあるいはサドル・バックの中で、日常点検が容易な場所である事が必要です。

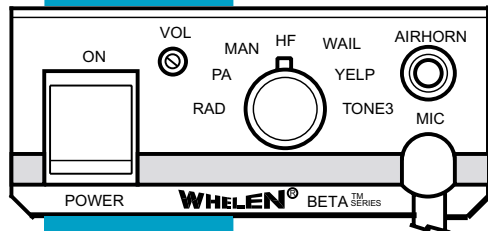


## 配線の完成準備

配線を始める前に必ず下記スイッチのポジションをご確認ください。これは取り付け作業中に予期しない装置の作動開始によって起きる作業員及びその近隣での事故を予防するためにも必要です。

システムへの入力電源回路を切ります。

左側にあるサイレンのレバースイッチは【OFF】表示はありませんが下向きに押し下げてください。使用開始する時点で上向きに押し上げます、装置には【ON】表示があります。



ロータリースイッチのインジケータは左側の【RAD】の位置を指している事を確認してください。

以上で結線作業中に WBE100 システムを動作させない設定が完了します。

## コントロールボックス側の配線確認。

主要配線組み立ては既に完成されています、次の通りコネクターを確認の上配線を完成させてください。

コントロール・ヘッド側には12ピンの（雄）コネクターの準備があります。これと別途供給されたワイヤリング・ハーネスの12ピン（雌）コネクターと合体します。このとき確認できる

12ピン（雌）コネクターからグループ別れをした形で出る2本のライン 灰色（グレイ）と 白（ホワイト）は、自動車等のホーンリングへ接続して使用されるハンドフリー、サイクル・サウンド用の配線です、この二本はモーターサイクルでは使用しませんのでショートしないように処理して別途格納して下さい。

このハーネスの反対側にある9ピン（雄）コネクターはブラックボックス側の（雌）コネクターと合体させます、これでコントロール・ヘッドとブラックボックスの結線は終了です。

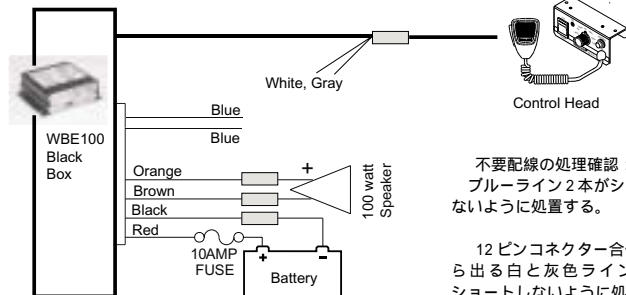
システムへの電源供給とスピーカーへの配線は、別途供給されている6ピン（雄）コネクター付き完成配線セットを使用します。このコネク



ターをブラックボックスの6ピンコネクタと合体させて下さい。  
 完成後下記の通り配線を確認し結線を終了します。

ブラックボックスからの配線で：

- |      |                                |
|------|--------------------------------|
| ブルー  | (青) 二本共使用しません。                 |
| レッド  | (赤) 車両のプラス側 (10AMP ブレード・フューズ付) |
| ブラック | (黒) 車両のマイナス側 (アース)             |
| オレンジ | (橙) スピーカーのプラス側と結線              |
| ブラウン | (茶) スピーカーのマイナス側と結線             |



不要配線の処理確認：  
 ブルーライン 2本がショートしないように処置する。

12ピンコネクタ合体部分から出る白と灰色ライン 2本もショートしないように処置する。

以上を確認してください。

## サイレンの機能テスト

サイレンの作動テストに入る前にスピーカーの音量を最低に絞ります。さらにスピーカーそのものをウエスや座布団等を利用して消音に勤めてください。

### ダイヤル・インジケーター・スイッチ

システム機能選択スイッチです。【PA】位置で行うマイクロホンのテスト開始までは、反時計回転方向いっぱい【RD】の位置にセットしておいて下さい。

### 【RAD】Radio Rebroadcast

この位置は、別に搭載されている無線装置で受・発信する音声を付属のスピーカーを通して同時再生するためのポジションです。詳しくは無線機の取り扱い説明書をご覧ください。使用出来るスピーカーは本セット(WBE100)で供給されるスピーカーのように、アンプ装置の組み込みの無いスピーカーのみ使用できます。この位置ではサイレンは作動しません。

註) 配線の項で 青 (ブルー) を二本使用しないとしました、これらが Radio Rebroadcast 用のラインです。

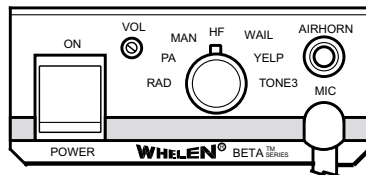


### 【PA】 Public Address

搭載のノイズレス・マイクロホンを使用した、口頭指令を行う位置です。ノイズレス・マイクロフォンのグリップスイッチを握ると【ON】です、この状態でマイクロフォンからの音声はスピーカーから流れます。工場出荷時点で音声音量は最適状態に設定されています。



不注意な取り扱いは聴力障害を引き起します。



### 音量微調整

工場出荷時点では音量に関する設定を通常最適とされる状態に設定して出荷しておりますが、万一不都合がある場合には次の通り設定が変更できますので、各自の責任において調整してください。

マイクロフォンで音声を流しスピーカーからの音量を確認しながら【VOL】ボリューム調整ポート内に用意されているドライバーによる調整ツマミを使用します。時計回転方向で音量は上がります。

**【MAN】Manual Siren**

ロータリースイッチがこの位置にあるときは、右上にあるプッシュボタン・スイッチを押している間エアホーン音を発生させることができます。このプッシュボタン・スイッチは常にニュートラルに自動復帰します。

**【WAIL】Wail Tone**

ウエイル音色、比較的長い高低音を繰り返します。

**【YELP】Yelp Tone**

イエल्प音色、短い高低音を繰り返します。

**【TONE 3】Piercer Tone**

緊急走行中に、通行車両・人通りの多い交差点などを通過するときに Weil、Yelp の代わりに使用する音色です。

**【HF】Hand Free**

別名サイクルサウンドと呼ばれる機能ですが、あまり一般的では有りません。パトロールカーでは特殊な追加配線を施し通常のホーン操作と同様、ステアリングホーン・ボタンでサイレンの音色を次々と切り替えていく機能です。この仕様はモーターサイクルでは使用しません。

この機能を4輪車等でご利用をご希望の方は、システム本体裏面でシリアルナンバーを確認の上お問い合わせください。(Tel.: 03-3726-4321)

ロータリースイッチが【RAD】、【PA】、【MAN】、【WEIL】、【YELP】、【TONE 3】のいずれのポジションで使用中でも、右上の押しボタンスイッチを押すことでエアホーンになります。この押しボタン式スイッチは自動的にニュートラルに戻ります。

【PA】マイクロフォンでの口頭指令は、マイクロフォン・グリップスイッチで作動します。【RAD】、【MAN】、【WEIL】、【YELP】、【TONE 3】等、ロータリースイッチが他どのポジションにあってもマイクロフォンでの口頭指令が優先されます。例えば、【WEIL】、【YELP】、【TONE 3】のどの位置でサイレン音が発生している時でもマイクロフォンを取り上げグリップ・スイッチを握った時点でサイレン音は停止、ボイスイン出来ます。放せば元のサイレン音発生状態に戻ります。

通常は【WEIL】、【YELP】、【TONE 3】のどれかを選択しておいて、左下のサイレンのパワー・レバースイッチでON-OFFします。勿論この回路を車両側のボタンあるいはレバースイッチに回路接続してもかまいません。

上記の仕様・機能は断り無く機能変更することがあります。これらの変更によって詳細説明細部は必ずしもこの説明書の通りに機能するとは限りませんので御了承ください。



HDSB Parts Kit  
Harley Davidson



## スピーカー装置と搭載について

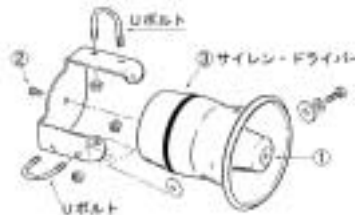
スピーカーは写真左のようにL型のマウントブラケットつきで供給されます。WHF100 型からドレイン装置が付加されました。

専用の Harley Davidson 純正バンパーマウントブラケットはパーツ番号 HDSB でご指定ください。

HDSBはバンパーに搭載するための専用部品セットです。(右図)

取り付けに必要な加工はこちらで済ませて納品させていただきます。

Uボルト2本で完全な搭載が完了し、左右どちらでも大丈夫です。



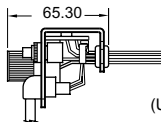
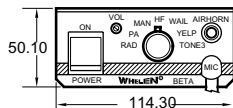
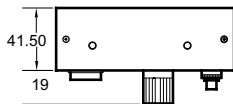
バンパーマウントではドレイン孔の位置確認を行ってください。

Uボルトでのスピーカー装置の固定が終わったら；

のスピーカーチップをしっかり握り左側へ回して緩める、この状態でのボルトを緩めると、サイレンドライバーが回転できます。下から見てドレイン孔が真下に来るように調整して固定確認をしてください。

## Dimension and Specifications

Control Head: 480g  
Black Box: 932g

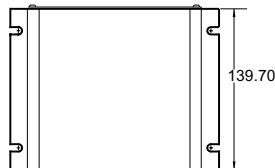
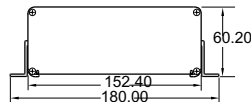
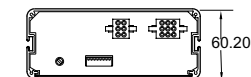


(Unit: mm)



**WHALEN**

Engineering Company Inc.



仕様は断り無く変更することがあります。

ご不明の点は下記宛にお問い合わせ下さい。

145-0062 東京都大田区北千束 3-35-2

株式会社 ミニオン・インコーポレイティド

Tel. 03-3726-4321 Fax. 03-3726-4324